

すべての人がありのままに暮らせる社会

ハーモニーフェスタ会場においてパネル展示を行い、【多様な暮らし方】について啓発をしました。

最近、雑誌などで「SOGI」や「LGBT」という言葉を目にすることが多くなりました。「SOGI」とは、性的志向・性自認を意味する、異性愛の人なども含めすべての人が持っている性的属性のことをいいます。また「LGBT」は、レズビアンやゲイなど、性的少数者を表す言葉です。

「LGBT」の方が「自分を偽ることなく、自分らしく生きたい」と願っていても、偏見や差別的な言動で嘲笑され、日常的にからかわれる環境では、なかなかそうはいきません。それでも、「LGBT」の方が抱える問題を特定の人のための課題としてとらえるのではなく、どのような「SOGI」であっても平等に人権が尊重さ

れることが大事であるとの認識が広まってきました。

会場では、差別的な表現の例として「あの人ってオネエ系よね」「女性だからセーラー服で登校しなさい」等を吹き出して掲示し、「SOGI」や「LGBT」といった言葉の説明をし、レインボーカラーの木で多様な性についての啓発をしました。

すべての人が安心して暮らせる社会を実現するためにも、差別や偏見をなくすことを意識して生活してみませんか。



男女共同参画講座

対人関係に悩んだら、自分の個性を見つけてみよう

交流分析の哲学は、人はみなOK、誰でも考える能力を持っているという前提から始まります。自分の運命は自分で考え、決められると考えます。自律性や自発性、こういうふうにやっておけばよかったという気づき、人との距離をどうとるかという親密さなど、対人関係において非常に役立つものです。

講師の話聞いて、ピンチになると自分の自我状態が出てくることを知るにより、人生の脚本をいくらかでも修正することが可能である、ということが分かりまし

とき 11月12日(火)
ところ 男女共同参画センター
講師 中島 和美さん
NPO 法人 日本交流分析協会インストラクター

た。また、今まで感じていなかったことや考えもしなかったことに気づき、自分もOK!相手もOK!になることで、ストレスや気づまりな対人関係を抱える自分を変えていけるということが分かり、とても気持ちが楽になりました。

※自我状態…人間には3つの心(自我)があります。社会のルールを守ろうとしたり、相手を褒めたり労ったりする親の心(P)、状況判断をする成人の心(A)、天真爛漫に振る舞ったりする子どもの心(C)などです。この3つの心、グラフ(エゴグラム)を用いて自分の特性と改善の方法を知ることができます。



問合せ先
男女共同参画センター
佐野町2丁目8番2
TEL・FAX 354-0167

編集後記
最近、新聞・雑誌などでいろいろな角度から捉えたジェンダーに関する記事を目にするものが多くなりました。こういう情報から、それぞれの思いや考えを持たれていることと、思いますが、ある新聞にこのような投稿がありました。
「買い物先で男の子が選んだ物を「それ女の子の色でしょ」とお母さんが言っているのを見て、「今はそういう時代じゃないのに」とつぶやいた私に、「坊主にしたい」と9歳の娘から言われた。学校でいじめられないかと心配し、戸惑った自分がいた。学校では問題もなく、娘の変身に気づかされ、自分が「変身」するきっかけになった。……
という内容でした。
みなさんどうでしょうか。この方のように頭では理解していたつもりでも・・・というようなことはないでしょうか。
(H・H)

ひたちなか市男女共同参画啓発紙

かがやく

第28号
2020.3 発行
編集/発行
ハーモニーひたちなか
ひたちなか市女性生活課

ハーモニーひたちなか

男女共同参画強調月間事業

テーマ「みとめあおう 自分も相手も大切に」

本市では毎年11月を男女共同参画強調月間と定め、男女共同参画社会の実現に向けて、市民や事業者の方に関心と理解を深めてもらうために様々な事業を実施しています。令和元年度は「みとめあおう 自分も相手も大切に」をテーマに、男女共同参画を推進する市民団体の連合体であるハーモニーひたちなかと協働で、趣向を凝らした企画を展開しました。



▲ハーモニーフェスタ2019 会場のにぎわい



▲ハーモニーひたちなかフォーラム講演会

令和元年11月2日(土) 市総合体育館
サブアリーナで「ハーモニーフェスタ2019」を開催し、ハーモニーひたちなかの日頃の活動をパネル展示で紹介したほか、来場された方にアンケートのご協力をいただきました。併せてハーモニーひたちなか構成団体による紙芝居や紙工作など、親子で楽しめるイベントも行いました。
また、11月24日(日)にはハーモニーひたちなかフォーラムをワークプラザ勝田で開催しました。同フォーラムでは、男女共同参画を推進している事業所や、男女共同参画に関するキャッチフレーズ入選者の表彰式を行いました。表彰式終了後には、声優・講談語り・インプロ講師の大塚みずえさんを講師に迎え、「自分を表現してみよう」をテーマに講演会を行いました。



ハーモニーひたちなかフォーラム

講演会

自分を表現してみよう ～毎日楽しく過ごす秘訣を伝えます～

とき 11月24日(日)
ところ ワークプラザ勝田大会議室
講師 大塚 みずえさん(声優・講談語り・インプロ講師)



講師は、声優という仕事を始めてからコミュニケーションの大切さをより強く感じたと話しました。その気付きからインプロに興味を持ち、インプロ講師として活動する今に至ります。

自己紹介の後に自作の講談を語りました。題して「大塚けんたウミウシの時代」、テーマは現代版内助の功です。夫のけんたさんとのなれそめや、人と付き合うのが苦手な引きこもりがちだった頃の彼を「海の底でゆっくり動くウミウシ」と例えて話しました。落ち込みがちだったけんたさんが絵本作家になるまで、二人がどのように歩んだかの話です。生活の基盤を支える妻と、可能性を信じて努力した夫。夫婦の形は様々であるとしみじみと感じました。

その後、会場に流されたけんたさんの絵本「いちにちばんだ」も味わい深いものでした。

またその後は、「自分を表現してみよう」の体験となりました。自分で決めて自分で行動する・意識してやる・やめるのも自分で決める、が前提で、失敗してもいいからチャレンジする・過大に恐れずチャレンジしようと参加を求められました。講師から出されるお題は脳トレのようなものでした。知らない人同士がグループになり課題に取り組み、笑い声が会場のそこそこに溢れ、とても楽しい講演会でした。



ハーモニーフェスタ 2019 開催!

▼おやこ劇場ゆめひろばのマイフラッグ作り



▼パートナーシップ・イコール会による男女共同参画アンケート調査



▲恒例のシールアンケートによる意識調査



▲ハーモニーフェスタ会場入口 総合体育館地下一階



▲更生保護女性の会による紙芝居「おうちでレストラン」は男女共同参画社会を身近に感じさせてくれました。



▲ガールスカウトによるデコパージュ石鹸作り

▲男女共同参画社会をイメージさせる写真が並び、感想コメントをいっぱいいただきました。

男女共同参画推進事業所表彰

男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる次の事業所が表彰を受けました。

<株式会社 菊池精器製作所> 精密機器製造業(高場)

国家試験の費用の助成やハラスメントに対する相談、苦情体制の整備に取り組むなど、性別に関係なく働きやすい職場環境を整備している等の取組が評価されました。



<有限会社 わたなべ製麺所> 食品製造業(田宮原)

女性従業員のパートから正社員への転換や、育児や介護のための休暇が取得しやすい、といった仕事と家庭生活の両立がしやすい職場環境づくりへの取組が評価されました。



男女共同参画に関する作品表彰

一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会をイメージした481作品の応募があり、その中から次の6名の方が入賞しました。最優秀作品は次年度の男女共同参画強調月間のテーマとして啓発活動に用いられます。

<最優秀作> 「良いところ みんなでみつけて 笑顔咲く」 野澤 妃奈さん

<優秀作> 「認めあう 一人一人の すてきな個性」 萩谷 ひよりさん

「創ろうよ 誰もがいきいき 暮らせる社会」 清水 怜さん

<佳作> 「つくろうよ みんなの個性が 輝く未来」 丹波 満優子さん

「自分らしく あなたらしく 生きてゆこう」 小林 花奈さん

「あなたとわたし 共に歩こう 令和の年を」 川崎 美智子さん

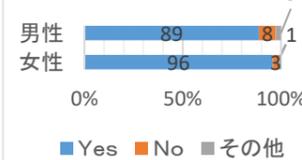


ハーモニーフェスタアンケート調査

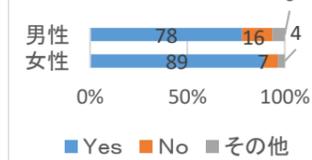
会場において、外国人に対するアンケートを行いました。全体的に女性の方が外国人の受け入れには好意的にみえます。男女とも挨拶程度なら抵抗は低いですが、生活に直接関わってくるとまだ消極的になるようです。

外国人に対するアンケート調査結果

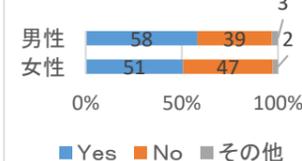
外国人にあったら
あいさつをかわす



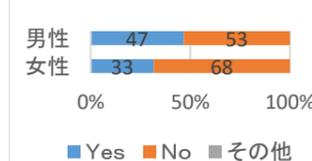
外国人と友達になり
たい



自治会に加入して
ほしい



お付き合いがある
(したい)



また、会場では「SDGs」に関する意識調査を行いました。参加者に、アンケートパネルに展示された17の項目のうち、特に関心のある項目にシールを貼っていただきました。結果は、1の【貧困をなくそう】、13の【気候変動に具体的な対策を】、3の【すべての人に健康と福祉を】の順となりました。



SDGsとは…

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。